



文部科学省は毎年、幼稚園や小中学校・高校の健康診断の結果を一部抽出し、健康状態を調査していて、先日、令和3年度の結果が公表されました。それによると裸眼の視力が1.0未満の割合が、小学生で36.87%、中学生で60.28%、高校生では64.41%となっていました。小学校は微減ですが、中学校は初めて60%を超えて過去最高となりました。よく言われるスマートフォンやタブレットの長時間使用だけが理由ではなく、場合によっては眼疾患によることもあります。視力検査でBやCの児童生徒には眼科受診の必要があることを学校全体で共有していただければと思います。

## 第2回弱視学級担当者等研修会を実施しました

8月22日(月)に第2回の弱視学級担当者等研修会を実施しました。今回は9名の先生方に出席いただきました。

会では児童生徒の視機能を把握するための視力検査や視覚認知検査のWAVESの紹介、ビジョントレーニングについての説明等を行いました。その後、進路についての研修として、高等学校や専門学校、大学などへの進学について考えておかなければならないことを確認しました。

その後、参加いただいた先生方の実践や困っていることなども教えていただきながら、これからの指導支援について考えていきました。



### 進路について

#### 大学・専門学校

- ・入試では実態に応じた配慮申請の手続き
- ・支援については、各校で異なる。
- ・学校からの働きかけは期待できない。
- ・自分でどれくらい訴えられるか。
- ・支援が全体(すべての講義)で得られるかはわからない。
- ・通学は自己責任。

## 体育祭や修学旅行等での配慮について

運動会や体育祭については、5月などの春開催の学校も増えてきましたが、まだまだ9月や10月に行われている学校も多いと思います。また、遠足や校外学習、修学旅行(宿泊学習)なども2学期に行われることが多いようです。そこで、今回は運動会・体育祭および修学旅行等における配慮についてまとめてみました。

## 体育祭・運動会

### ○徒競走について



見えにくい子どもたちが困るのは、走るラインやゴールが分かりにくいことです。走る順番が後のほうになるとラインが消えてしまい分かりにくくなってしまいますので、走順を早めにする、ラインを引き直す、コーナーの内側に人を配置したり、コーンを並べたりするなどの手立てを取っていただければ、安心して走ることができると思います。

また、ゴールについては、ゴールテープを持つ人が声で知らせてあげたり、ゴール前方に目印となる目立つ色のコーンなどを置いたりすると、分かりやすくなります。

### ○リレーについて



リレーで見えにくい子どもたちが困るのは、バトンパスです。バトンパスのときに、先生が前走や次走の位置やパスのタイミングなどを知らせてあげたり、前走次走に声を出してもらったりして、確認ができるようにしましょう。

また、チームごとに違う色のビブスを着用すると、同じチームの人がはっきり分かるようになります。

### ○応援について



見えにくい子どもたちにとって、応援席で応援する際に、何の種目が行われているか分からないことがあります。先生が近くにおいて、今の状況を説明したり、できる範囲で競技が行われている近くまで一緒に行ったりすることで、楽しく応援に参加することができると思います。

### ○ダンスや準備運動について



ダンスや準備運動などは、手本がわかりづらいなどのために、見えにくさのある子どもたちは苦手なことが多いようです。そのため、「右腕を肩の高さまで上げて、まっすぐに伸ばして」のように具体的に説明したり、手をとって説明したりと丁寧な指導が必要になります。手や足、からだの向きを細かく説明したりするなど、個別の練習が必要になることもあります。また、先頭などで

はなく、お手本にしやすい子どもの後ろにするなどの配慮が有効です。

### ○その他

まぶしさ対策として、つばのある帽子の着用や遮光眼鏡の装着も大切です。場合によっては、日かげやテントの中で休む時間を確保する配慮も大切です。

他にも、テントなどの場所がわかりにくかったり、用具などが思わぬ場所にあったりするなど通常とは異なる状況になっています。行動するときには、必要に応じて誰かと一緒に移動するなど考えて良いと思います。

## 修学旅行等

### ○行く前に・・・

行き先の画像や動画などの情報で、子どもたちと一緒に概要や動線などを確認しておきましょう。



### ○移動について

バスや電車など普段乗り慣れていない乗り物を利用することがあると思います。バスはステップの段差や隙間、扉の位置などを乗降車の前に知らせておきましょう。また、最後に乗降車すると、気持ちにゆとりを持って動くことができるかもしれません。

電車を利用する場合は、ホームと電車の間にある隙間が危険なので、特に気を付けておきましょう。

引率の先生が目立つ色の上着や帽子などを身に付けておくと、移動や集合の際などに見つけやすくなります。また、交通量の多い道路や危険な場所は、友だちや先生と一緒に歩くと本人も安心できると思います。混雑しているところで話しかける際は、誰に言っているか分かるように名前を呼んでから話しかけることも大切です。

### ○施設などの見学について

見学や体験などをする施設では、段差や通路などを事前に把握して、本人に伝えておくと安心して活動ができると思います。見学の際に展示物が遠かったり、近づくことができなかったりする場合があります。その場合は単眼鏡を用いたり、許可を得て写真やビデオに撮影したり、タブレット端末のカメラ機能を使ったりすると見えやすくなると思います。また、トイレの場所やトイレの中のボタンの位置などをくわしく知らせておきましょう。

#### 【参考文献・引用文献】

- ・見えにくさを支えるファーストブック
- ・無料のイラスト素材集 イラストエイト

日頃の指導で悩まれたり、困られたりしていること、「こういう資料がないか」などがありましたら、お気軽にご連絡ください。巡回相談の依頼も受け付けています。

佐賀県立盲学校 電話（０９５２）２３-４６７２ 代表メール mougakkou@education.saga.jp

FAX（０９５２）２５-７０４４ ゆうあい担当 miyata-yoshihiro@education.saga.jp